

日本の教育をよりよくするために

G4班

研究の目的と仮説

- ・将来多くの仕事がAIに奪われると言われている
 - ・人間は新しいものを生み出すという点で優れている
- そのような能力を学校教育で開発する必要がある

=時代の変化による意味のある教育の価値観の変化

結論

内装化ができる企画を行い、経験を積む

例) ホテル、コンサルティング業界
→コミュニケーションの理論学習、地域再生プロジェクトの体験

IT業界
→合宿形式で事業創造のメカニズム、新規事業立案、フィードバック

学校の場合→校外での交流、科学系の体験会

調査内容

経営において 業績=モチベーション×能力

能力のみ・・・ある程度の効果は期待できる

モチベーションのみ・・・できる職種はAIに劣る

○意味のある教育の定義、価値観

→就職や仕事など将来において学んだことが役立ったと実感できる教育

例) 汎用能力

問題点・生徒の能力開発ができていない？

→生徒の能力開発ができる教育への転換

*能力開発…生徒（部下）の能力を発掘させられるように育成すること。
経営の要素の一つ。

*汎用能力・・・将来的に様々な職種で必要(IT, 英語、会計、資格)

○能力開発ができる人の条件

→専門性を持っていて内装化ができる企画が行える

*内装化・・・アウトソーシングによって同じような人材を作らない
→特徴を持たせる

→生徒の能力開発ができる

+ α 企画の中にモチベーションが上がる要素を入れる

→最大限に能力を発揮できる生徒になる(企業における業績アップ)

仕事を奪われそうな職種

仕事を奪われそうにない職種

職種	奪われる確率	職種	奪われる確率
電話による販売員	99%	医師	0.40%
データ入力	99%	小学校などの教師	0.40%
銀行の融資担当者	98%	ファッション・デザイナー	2.10%
金融機関などの窓口係	98%	エレクトロニクス技術者	2.50%
簿記・会計監査	98%	情報通信システム管理者	3.00%
小売店などのレジ係	97%	弁護士	3.50%
料理人	96%	ライター・作家	3.80%
給仕	94%	ソフトウェア開発者	4.20%
タクシー運転手	89%	数学者	4.70%
理髪業者	80%	旅行ガイド	5.70%

内装化ができる企画

能力開発

参考文献

<https://www.co-media.jp/article/11088> 「人工知能の発達によって将来「なくなる仕事・なくなる仕事」